

埼玉県が、県立伊奈学園中学校の歴史及び公民教科書に 「つくる会」系の教科書を採択したことに抗議し、採択の撤回を要求する

本年8月25日、埼玉県教育委員会は、2012年4月から使用される埼玉県立伊奈学園中学校の歴史教科書に、育鵬社の歴史教科書及び公民教科書を採択した。

育鵬社版の歴史教科書及び公民各教科書は、「自虐史観からの脱却」を謳って日本の侵略戦争の歴史を否定しようとする「新しい歴史教科書をつくる会」系の教科書である。

育鵬社版歴史教科書及び公民教科書は、アジア諸国を蔑視し、天皇を中心とする日本の伝統を情緒的に強調し、日本国憲法を押し付けられた憲法であって「改正」すべきものと教え、自衛隊を海外に派遣する必要性を強調する内容を基軸としており、一言でいえば、「戦争をする国」を担う国民を育成しようとする教科書であるというほかない。

このような内容の育鵬社の歴史教科書及び公民教科書に対しては、その内容が歴史や憲法に対する見方があまりにも一面的で多くの誤りを含むものであることから、多数の有識者がその採択に反対の声をあげており、また全国各地でその採択について多数の市民から強い反対が出されているところである。

埼玉県の県立伊奈学園中学校に関する今回の教科書採択は、このような強い反対を完全に無視したものである。

このような採択が、子どもと日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

われわれ自由法曹団は、埼玉県教育委員会が県立伊奈学園中学校の歴史及び公民教科書に育鵬社の教科書を採択したことに対し、抗議するとともに、ただちにこの採択を撤回し、改めて十分な調査研究に基づく採択をやり直すことを要求するものである。

2011年8月29日

自由法曹団

団長 菊池 紘

自由法曹団埼玉支部

支部長 佐々木 新一